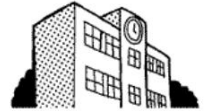




一緒に…

校長 鈴木 彰

青葉台中学校に来て、多くの生徒と、そして多くの保護者の方々と話をしたり相談に乗ったりしています。思春期の中学生の悩みは大人が思う以上に重く、思春期の子を持つ親の悩みもやはり同じように重いものです。



「急に友達とうまくいけなくなりました。」「悩んでるようなんですが、何も話してくれません。」
「返事すらしないのです」「『それが親に言う言葉か』って怒鳴ってしまいました」「うちの子、何を考えているのか分からないんです」

難しい年頃です。保護者のみなさんの声を聞くと、私自身も共感します。自分も子育てで悩んできたからそう思うのかもしれません。この学校だよりをお読みの方も、私に相談するほどではなくても、同じように感じたことのある方は多いのではないのでしょうか。

子どもたちと話をすると、意外に子どものほうが冷静で、切実で、強い思いをもっていることが分かります。

「ダメだってことは分かってるんです。でも自分を止められない。」
「母に平気でひどいことを言ったことは一度としてなかった。物を投げるときも、いつも計算していた。大切な母を本当に傷つけるつもりはなかった。」
「両親に強く言い返したあと、いつもわたしは一人で涙を流していました。」
「暴れてから部屋に戻り、ベッドで寝ると祈っていました。『親をやめないで!』と…」
「逃げないで腫れ物(自分)に近づいてくれた父に、ぼくは安心したんです。」

(教育・心理カウンセラー 富田富士也さんの話を一部引用しています)

もしかしたら、毎日試行錯誤の中、手さぐりで育てている親としての私たちより、子どものほうがずっと堂々とし、苦しみながらも大人に成長しようと自分と向き合っているのかもしれません。

親だって成長途中です。最初から立派な父母など、きつといません。初めて子どもが生まれたときは親だって初心者です。1歳の子の父親は、父親として1歳です。1年生の子の母親は、母親1年生。中学1年生の子の親は、親としてまだ中1です。子どもの成長とともに親も成長するのですが、ぶつかる壁はいつも初めての壁ですから、悩みは尽きませんね。



私は、どの学校に行っても、この話題をお伝えしています。先にも書いたように、自分も同じように何度も何度も悩んだからです。お母さん、お父さん。困ったときには一緒に考えましょう。お子さんの未来のために。

主な行事予定

(変更する場合があります。学校からの最新のお知らせでご確認ください。)

月	日	曜	学校行事・生徒関係	その他
7月	1	水	⑤人権作文	
	2	木		S.C.来校日
	3	金	区個別級交流会①～③ 放：図書館開館	
	4	土		
	5	日		
	6	月	(帰り 学活後清掃なし) 避難訓練 総下校15:10	S.C.来校日
	7	火	(帰り 学活含清掃なし) 人権作文	
	8	水	社会福祉協議会ケアプラザ交流	
	9	木	※個人面談 放課後図書館開放～14:30 学校保健委員会	S.C.来校日
	10	金	※個人面談 放課後図書館開放～14:30	
	11	土		
	12	日		
	13	月	※個人面談 放課後図書館開放～14:30	S.C.来校日
	14	火	※個人面談 放課後図書館開放～14:30	
	15	水	※個人面談 放課後図書館開放～14:30	
	16	木		S.C.来校日
	17	金	※終業式 部活動再登校15:20	
	21	火	夏李休業	
8月	26	水		
	27	木	始業式8:30 学級相談①	S.C.来校日
	28	金	学級相談②③	
	29	土		
	30	日		
	31	月	帰り 学活後清掃なし 学級相談④ 横浜こども会議	S.C.来校日

☆ 3年生が、「赤学年 平和宣言」を創造しました。最後の部分のみ紹介します。

<前略>

私たちは、一人一人が1分1秒を大切に、責任感をもって歴史を未来へ語り継いでいきます。

過去の歴史を未来にせず、未来への道を今、このときに判断していきます。

当たり前を大切に。人々を苦しめる戦争は、あってはならない。

知らない、知りたくないじゃない。知らなければならない。知らないふりではなく、知ろうとする。

私たちは、戦争や歴史から学び、気づいたことから、新しい歴史を築くことを誓います。

戦争や歴史から学んだこと。

平和の大切さへの気づき。

自分たちがこれからできること。

未来への決意。

一生懸命、「今」を生きていきます。

令和8年6月24日 横浜市立青葉台中学校 赤学年一同